

# 雲林寺報

第拾九号



平成27年4月3日 大般若会 ~般若(はんじや)の風を受ける~

ギラギラと照りつける太陽、流れる汗。八月は暦の上では秋ですが、一年の中で最も暑さ厳しい時期です。日中の暑さにうんざりし、少しでも涼しさを求めようとしますが、逃れようとすればするほど不思議と暑さも増していくようです。

**安禅は必ずしも山水を須(もち)いず 心頭を滅却すれば火も自ら涼し**

坐禅は必ずしも整った環境でしかできないわけではないではありません。あれこれと考える事を一旦手放して、ただの自分になりきれれば、そこは心安らぐ場所になるかもしれせん。

「暑い暑い」と口にするのをやめて

「夏は暑い」とありのままに受けとめるところに暑さを乗り越える秘訣があるのかもしれない。とはいえ、あまり無理をし過ぎて熱中症などになつては大変です。

何事もほどほどが一番。身体を大事にしながらこの夏を楽しみたいものです。

住職 轟 紀久

## お盆の御供えをしましょう

(水の子)

水の子は、なすやきゅうりなどをさいの目に切り洗ったお米を混ぜて、器にもりつけたものです。水の子には、お盆に帰ってくるすべての霊に、いきわたるようという思いがこめられています。

(きゅうりの馬、ナスの牛)

きゅうりやなすに、割り箸をさして作ります。どちらも、**亡くなった方の霊のための乗り物**です。きゅうりの馬は、馬に乗って、早く帰ってきてください。なすの牛は、牛に乗って、景色を見ながらゆっくりに帰ってください。という意味があります。



## 大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師650回大遠忌 大本山總持寺報恩参拝と伊豆の旅



日程 平成27年10月29日(木)~30日(金)  
参加費 34,000円  
(供養恩金、参拝献香料¥3000円、交通費、朝食1回、昼食2回、夕食1回、記念写真代等含まれます) **詳細は雲林寺にお問い合わせください。**

本年の旅は大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師650回大遠忌の正当法縁にあたり、横浜鶴見の大本山總持寺を参拝し、ご先祖さまの供養法要、諸堂を参拝致します。他、北条政子建立の伊豆最古の木造建築「指月殿」や伊豆の小京都と呼ばれる、伊豆最古の温泉場修善寺へ立ち寄り、弘法大師空海開山の「修禅寺」(曹洞宗)を参拝し古都の風情に浸る内容でございます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。



ホテル天坊

### 護持会だより

第三回通常総会が開催されました。  
六月二十九日(月)草津温泉ホテル櫻井に於いて、総代世話人総数四十二名中出席者二十五名、委任状提出者十七名によって総会が開催されました。詳細は同封の「第三回通常総会開催結果のお知らせ」及び資料をご覧ください  
※北軽井沢の世話人 恩田明さんから神戸久利さんに変更になりました。



主な催しのご報告(前期)



①平成二十七年一月一日、越年迎春に際し除夜の鐘を撞きました。今年一年の感謝と明るく新年の吉兆を願い、毎年撞いております。  
 ※この鐘は縁起の良い鐘ですから年越しの際には是非、多くの方にお越し頂き、撞いて頂きたいです。

②一月二日、総代世話人様にお集まり頂き、新年祈禱会を行いました。祈禱後は総代世話人会が行われました。

③一月四日より年始のごあいさつに回らせて頂きました。

④二月三日、毎年恒例の節分会が行われました。立春の前日に「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまき、諸厄を払い福を招くための行事です。当山では三十分程の祈禱法要の後、毎年恒例の豆まき会を行います。この豆まき会は空くじなしのくじが付いており、皆様のご協力により毎年景品を用意しております。是非、来年もお出かけください。

(表紙写真) 四月三日、大般若会が厳修されました。大般若会は六百巻ある大般若経(有名な三蔵法師が中国語に訳したものを転読し、生きとし生けるもの(衆生)の幸福を祈ります。今年よりどなた様でも参列できるよう、御席を用意しておりますので、是非お越しください。

⑤七月十四日、長野原町の姉妹都市である、モンタナ州リビングストンより学生さんにお越し頂きました。毎年、坐禅、書道、お琴の体験をして頂いております。

感謝録

二月三日の節分会では沢山のご寄付を頂きありがとうございました。

- 金壹萬圓 萩原昭朗
- 金壹萬圓 長谷川誠
- 金壹萬圓 山口次夫
- 金壹萬圓 野口敏幸
- 金壹萬圓 黒岩元
- 金壹萬圓 永井芳司
- 金壹萬圓 宮崎透
- 金壹萬圓 野口明成
- 金壹萬圓 割田三男
- 金壹萬圓 割田祐美
- 金壹萬圓 吉澤建設(株)
- 金壹萬圓 浅白親光(株)
- 金伍仟圓 黒岩保男
- 金伍仟圓 群北車両
- 金伍仟圓 宮崎保近
- 金伍仟圓 宮崎昭
- 金三仟圓 宮前正
- 金三仟圓 キューピット
- 柴崎クリーニング店
- 素都廊
- 金三仟圓 パーラーエンゼル
- 金三仟圓 (有)酒井鉄工所
- 金三仟圓 山口幸一
- 金二仟圓 坂井工業
- 金二仟圓 黒岩敏夫
- 金壹仟圓 ひろみ美容室
- 商品券一万円分 浅間酒造(株)
- 商品券五千円分 スーパー大津
- 図書カード 油屋書店
- 酒三〇〇mlニ一本
- 酒粕三〇〇g五〇袋
- 生活用品福袋
- かくだい小林商店
- バッグ三個
- ふろしき
- 髪かざり
- 湯たんぽ四個
- クールアイス枕五箱
- 長生病院
- オムロン体温計五个
- 櫻井医院
- スポーツ用品一〇個
- ススポーツハウス市川
- カシマティッシュ一〇個
- セブティッシュ長野原大津店
- 彩果の宝石一五个
- 轟捷夫
- 竹カゴ二個
- 土田稲栄
- BOXティッシュ二十五個
- 野口商店
- ボールペン二〇個
- 長谷川浩一
- 靴下三〇足
- 松屋金物店
- 缶コーヒー三〇個
- 丸山商店
- タオル一〇本
- 村上家
- 酒四合六本
- 山屋商店
- 菓子ギフト三〇個
- 奈良屋
- 草津ナウリゾートホテル
- いちご十二パック
- 長野原園芸生産組合
- たまご二〇パック
- 矢野育雛場

# 坐禅三昧

只管打坐(しかんたぎ) ただひたすらにすわること

「坐禅は安楽の法門である。なにも考えなくて、教えられたように、だまってすわればよい。すわった姿は仏さまの姿であり、その心は仏さまの心である」  
道元禅師さまの示されたお言葉です。



1月11日 長野原町スポーツ少年団  
極寒の本堂でがんばりました。坐禅の後は境内で餅つき大会をします。



3月27日 埼玉県的女子大生グループ  
坐禅を体験してみたいとお問い合わせ頂きました。



6月22日~23日 長野原警察署  
毎年2班に分かれてお越し頂いております。皆様さすがに姿勢が良く、坐相がきれいです。



7月14日 リビングストーン市(米国)の学生  
ZEN(禅)は海外でも関心をもたれております。



7月15日 草津町女性グループ  
旅館の若女将さん、OLさん、仲居さん等、日頃忙しい中、自分を見つめなおす良い機会になったとのこと。

当山では随時坐禅会を受け付けております。体験された方の中には「いろいろな思考が頭を駆け巡ってしまう」といったことを仰る方がいます。「坐禅イコール無になる」といったイメージを持つ方も多くいます。しかし当山で坐禅を行う際、「無理をして心を無にするくらいであれば、色々な事を考えて下さい」とお声掛けしています。色々な事を考えてしまう自分をまず受け入れることが、坐禅の功德であるからです。そもそも「無理をして心を無にする」という事自体、すでに精神状態は「無」ではありません。何か考えれば良い場合は、そのまま身を委ねるに心身に集中力が増し、「無の境地」を楽しむことが出来るようになっていきます。

坐禅を希望される方は是非気軽にお問い合わせ下さい。初心の方にも細かく指導いたします。



**裏山の枯木を伐採して頂きました**  
雲林寺裏山の枯れ木を伐採して頂きました。あわや墓石を直撃するところでしたが、免れました。ありがとうございました。  
市川儀一様(長野原)  
塩野哲夫様(大津)  
野口善行様(大津)



本堂の水引と柱巻(赤丸部分)を田村家様に寄贈して頂きました。豪華絢爛な水引と柱巻で本堂が明るくなりました。ありがとうございました。

**水引、柱巻を寄贈して頂きました**  
株式会社 田村 守様  
株式会社 田村 石油  
株式会社 田村 英樹様  
株式会社 田村 商店  
田村 俊樹様

# 梅花流たより

平成二十七年年度梅花流全国奉詠大会が「パシフィコ横浜国立大ホール」にて開催されました。本年は大本山總持寺峨山詔禪師六百五十回大遠忌の正當の年となります。大本山總持寺さまの御膝元、横浜の地で奉讚奉詠として峨山禪師のご遺徳を讃えるこのようなご縁を結べましたことは私達講員にとって冥利に尽きることと思えます。オープンングでは總持寺保育園、鶴見大、短期大学付属三松幼稚園のかわいい園児たちや愛嬌たっぶりの中国獅子舞が出迎えてくれました。

式典が終わるといよいよ登壇奉詠です。群馬県は七十名で鳥取県との合同登壇第一番となりました。雲林寺講は参加者全員壇上にて観世音菩薩御和讃を落着いてお唱えすることができました。

また、大本山總持寺二祖峨山詔禪師六百五十回大遠忌奉讚奉詠では總持寺祖院の地元、石川県能登の伝統芸能である「御陣乗太鼓」の演奏と舞、峨山禪師と大悲真誦の逸話に基づいた演出に「サンドアートパフォーマンス」を融合したのを目の当たりにして、私達は幻想の世界へと引き込まれて行くようでした。

そして大本山總持寺貴首、江川辰三禪師の詠題によるお唱えにより会場全体が一体となって峨山禪師のご遺徳を讃えられたと確信いたしました。

轟 美代子



雲林寺、常林寺、無量院講合同で記念撮影しました

雲林寺梅花流の指導にあたる轟先生が、昨年十二月、正流詠範の試験に見事合格されました。雲林寺和讃会代表として心よりお祝い申し上げます。

正流詠範とは、寺庭婦人（お寺の奥さん）で梅花流を指導される立場の方の資格では最高位のもので、検定内容も難しいものと聞いております。

轟先生のさらなるご活躍と私共の雲林寺講のますますの発展を祈念してご挨拶申し上げます。

正流詠範合格おめでとうございませう

和讃会会長 篠原禮子

## 編集後記

八月も「いのちの集い」であるお盆が終わりますと、吾妻の地は、秋めいてまいります。そして、九月は、秋彼岸でありますが、「暑さ寒さも彼岸まで」というように春の彼岸の頃になると寒さも漸（ようや）く薄れ、暖かくなり、また秋の彼岸になると残暑もなくなり、涼しくなります。つまり一年のうちで大変いい気候であるので、仏道の修行にふさわしい期間として、彼岸の一週間を特に励むようになったのです。

また、春分秋分の日、昼と夜の長さが等しく、中道を尊ぶ仏教にもかたないます。

中道とは、かんたんに言う、何事も極端に考えないということ。これは有る、これは無いということに片寄らず、執着しないことです。苦しいことや、楽しいことがあっても、できるだけそれにとらわれないように心をたもつ、それが中道の精神です。難題ですね。

副住職 轟 省吾

次号は平成二十八年一月になります。

## 第7回雲林寺親睦ゴルフコンペ

開催日:平成27年10月12日(月・祝)

場所:草津カントリークラブ

募集人員:60名

※詳細は雲林寺にお問い合わせ下さい。過去参加者にはハガキにて通知いたします。多数のご参加お待ち申し上げます。

## 除夜の鐘

平成27年12月31日 23:45～

雲林寺鐘楼堂

除夜の鐘をつく理由は、人の心にある煩惱を祓うためと言われています。仏教では、人には百八つの煩惱(=ぼんのう)があると考えられてきました。その煩惱を祓うためにつく除夜の鐘の回数は108回とされています。